



キク編

病害虫注意報 2025年4月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

アザミウマ類対策！

気温が上昇するに従って、各種病害虫の発生が増加します。アザミウマ類、ハダニ類、白さび病の防除を徹底しましょう。



被害

- ▶20～30℃の気温で発生しやすい。
- ▶新芽が加害された場合、心止まりとなる。
- ▶花卉への被害はかすり状の食痕が見られる。
- ▶未展開葉時の加害により展開葉にケロイド状の被害が生じる。

▶キク茎えそ病、キクえそ病(ウイルス病)を媒介する。

対策

- ▶ **早期発見**
青の粘着板を利用してモニタリングを行う。
- ▶ **圃場周辺の除草**
除草剤を散布して圃場周辺での増殖を防ぐ。

今月のおすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があります。ご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数・使用量	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 アントラコール顆粒水和剤	1,000～2,000倍	発病前～ 発病初期	6回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病・褐斑病 黒斑病	予・治 メジャーフロアブル	2,000倍	発病初期	3回
	6	アザミウマ類	アフーム乳剤	1,000～2,000倍	発生初期	5回
発蕾時	21A, 39	白さび病・アザミウマ類 アブラムシ類・ハモグリバエ類	予 ハチハチ乳剤	1,000倍	発病・ 発生初期	4回
	34	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
破蕾時	3	白さび病・うどんこ病	予・治 アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
	4C	アザミウマ類・アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	1,000～2,000倍 アブラムシ類：2,000倍	発生初期	3回

海藻サンバ

育苗期・生育期：1,000倍

- ▶コリンによる
光合成促進と発根促進
- ▶海藻エキスによる**発根促進**
- ▶転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

inochio セイレーンフロアブル

- ▶優れた浸透移行性 ▶ 長い残効性
- ▶幼虫への高い効果

2,000倍/発生初期/3回
ハダニ類・アザミウマ類・アブラムシ類

<https://youtu.be/MDfBBxbyDTg>

QRコード、もしくはURLにアクセスすると紹介動画がご覧いただけます。

